

エンターテインメント

名器が奏でる 友好の調べ



①ベーゼンドルファー・インペリアル「エンペラー」と、演奏するピアニストの久元祐子さん=東京都中野区で。

②「エンペラー」両端の腕木には凝った装飾も

③美子皇后に献上された「エンペラー」

オーストリアのピアノの名器、「ベーゼンドルファー・インペリアル」の特注品「エンペラー」が日本に上陸、東京・中野のショールームで展示、公開されている。明治天皇の美子皇后に献上されたピアノの復刻版で、ヴィーンの香り漂つ華麗な造りとなっている。ベーゼンドルファー・ジャパンは「見るだけでなく試弾もどうぞ」と「歴史遺産」との触れ合いを勧めている。(村串栄一)

同社は創業百七十五年を記念 千万円以上するインペリアルをして二〇〇三年、エンペラーを製作。製作費は販売価格一台

は米ラスベガスの同社特約店に

オーストリアの修好通商航海条約百四十周年に当たる今春、特約店の協力で日本に搬送、展示を実現させた。

同社はウィーン郊外に工房を構え、リストやブライアムスらが愛用する名器を生み出してきた。オーストリア・ハンガリー皇帝は、一八六九(明治二)年、日本との条約締結に際し、

陳列されていたが、日本とオーストリアの修好通商航海条約百四十周年に当たる今春、特約店の協力で日本に搬送、展示を実現させた。

同社は残存していた図面を基に一年余をかけて復刻器を作。サイズは最長部分二メートル、音域は低音部の鍵盤が一般より九つ多くハオクターブ。随所に金箔をちりばめ、鍵盤両端の腕木にはバロックアートの彫刻を添えて、重厚、きらびやかなデザインを復元した。

明治天皇・美子皇后献上ピアノ 日本上陸

試弾も可能 復刻版「エンペラー」

J・シュトラウスなどの曲だ。「エンペラー」を弾くのは今回が初めて。包み込まれるような温かさがありますね。木が生きているというか、響きがじかに伝わってくる感じです。さすがヴィーンの名器です」

今年五月から開催されたヴィーン少年合唱団の日本公演でも演奏された。ピアノは来春まで日本に滞在するという。同社・ジャパンの内山武彦社長は「イベントで不在があるかもしませんが、展示中はいつでもお聞きいただけます」と話す。ちなみに日本では販売対象外とのこ

展示場所は東京都中野区本町一の三二の二、ハーモニータワー一階。問い合わせは「ベーゼンドルファー・ジャパン」(03)6681-5189。

美子皇后にグランドピアノを献上、これがエンペラーだった。記録には「澳太利琴 一面」と残っている。